



2022年4月5日発行
 発行責任者
 立憲民主党・民権クラブ 佐々木ナオミ
 〒250-0875
 小田原市南鴨宮3-6-13 天野ビル1F西
 phone.0465-46-6831
 fax.0465-46-6857
<https://naomi-sasaki.com/>

No.15

神奈川県議会令和4年度第1回定例会

2月10日より始まった、令和4年度第1回定例会。一般会計が2兆3449億円と、二年連続で過去最大となり、長引くコロナ関連の事業や、地球温暖化対策や貧困対策といった新たな課題、やまゆり園での虐待案件の発覚、そして、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻など、多岐にわたる議論が行われました。わたしは、会派を代表して一般質問を行い、また予算委員も務めました。（一般質問では登壇中に体調不良となり結果的に文書質問という形で知事に答弁をもらいました。今はすっかり元気です。ご心配をおかけしました。）

佐々木ナオミ 質問項目

- 神奈川県これからを考える取り組みについて
 - パートナーシップ制度の導入について
 - 自伐型林業について
 - 市街地への出没など野生イノシシの新たな課題について
 - 熱海の土砂災害を踏まえた土砂の適正処理へのさらなる取り組みについて
- 県西地域における諸課題について
 - 県立足柄上病院の分娩機能について
 - 小田原海岸前川地区における越波対策について

県立足柄上病院の産科の存続を求める！

令和3年3月に、突如示された、「県立足柄上病院の産科廃止」。これに対し、県西地域とりわけ足柄上地域の住民から、存続を求める声が上がっています。

そもそも、小田原をはじめとする県西地域では、深刻な産科医不足の影響で出産できる場が減りつつあります（南足柄市・足柄上郡では、足柄上病院以外1箇所のみ）。足柄上病院の分娩を廃止してしまうと、例えば山北町に住む妊婦は、1時間以上かけて小田原市立病院へ行かねばならず、通院が大変な負担になります。これでは、県が力を入れている県西地域の子育て世代の移住促進を妨げることにもつながります。

自分らしいお産を支える「院内助産」を残してほしい！

足柄上病院には、「院内助産」という仕組みもあります。家庭的で温かい雰囲気の中で自然に赤ちゃんを迎えることができるよう、高い技術を有する「アドバンス助産師」が中心となって、妊娠・出産・育児をサポートするもので、産科医不足解消の一助になっています。

今回、一般質問を行うにあたり、反対の要望をしている足柄上地域の女性議員の皆さん

んや足柄上病院で出産経験のある方、さらには、足柄上病院で働いていた助産師の方にもお話をお聞きしました。例えば、出産時には、ベッドか畳かを選ぶことができるなど、自分らしいフリースタイルの出産ができるため、近年注目されているシステムとのこと。出産した方の満足度はもちろんのこと、助産師さんたちが誇りをもって働ける場でもあることが分かりました。

こんな素晴らしい取り組みもなくしてしまうのはもったいない！普通分娩は足柄上病院の「院内助産」で、そして、緊急時や異常分娩は周産期医療を担う小田原市立病院で、と役割分担することで、県西地域全体の安心安全なお産を確保できると考えます。



足柄上病院のある松田町本山町長に周辺自治体の議員が要望書提出。

残念ながら、知事の答弁は、『廃止の方向は変更しない』というものでしたが、地元の皆さんと連携をし、存続に向けて引き続き取り組んでいきます。

小田原海岸前川地区における越波対策について



記録的な豪雨となった、令和元年の東日本台風。小田原海岸の前川地区では、高波が護岸を越え、家屋等に被害が発生しました。

県は越波対策として、護岸嵩上げや養浜などを実施していますが、今一つ工事が進んでおらず、地元の皆さんから、不安の声が上がりましたので、今回一般質問で取り上げました。

県からは、西湘バイパスへの影響を考慮し、護

岸の形状など、具体的な構造を決定して、早期に工事に着手するという答弁がありました。特に、一時的に休止していた護岸基礎部の補強工事については、令和6年度の工事完了を目指して取り組むとのこと。また養浜は、令和2年度から投入する砂の量を増やして実施しており、今後も、定期的なモニタリングを行いながら投入量を調整し、効果的な養浜を実施するとの答弁でした。私からは、今後は、進捗状況や効果を分かりやすく住民のみなさまに情報提供することを強く要望しました。



No War! ウクライナに平和を

2月24日に始まったロシアによるウクライナへの侵略に対し、世界中から、非難の声が上がっています。いまだ停戦の道筋も見えず、民間避難所への攻撃も行うなど、状況は深刻化し、女性や子供を含む一般市民に多数の死傷者が出ています。

こうした状況を受け、神奈川県議会では、武力を背景にした一方的な現状変更に対し強く抗議し、ロシア軍の即時かつ無条件での完全撤退と、早期の平和的解決が図られることを求める「ロシアによるウクライナへの侵略に断固抗議する決議」を全会一致で可決しました。

県では、ウクライナ避難民支援等対策会議を立ち上げ、避難民に対する住居等の支援や、相談窓口の設置を行っています。わたしも、小田原市内の思いを同じくする有志の皆さんと共に、ロシア軍の即時撤退とウクライナの一日も早い平和を求めるスタンディングと募金活動を毎週行っています。

同じ思いを持つ皆様のご参加もお待ちしています！



1/12



南足柄市で始まった自伐型林業の取り組みを見学。

行った！
見た！
聞いた！

1/23



神奈川県主催の「古今古典」の丸ホールに参加。コロナ禍で大変な伝統芸能の発表の場。相模大形芝居「下中座」さんや、箱根伝統芸能組合さんの舞台も。

2/11



上曽我の「サボテン工房」さんの、梅まつりイベントに参加。かわいい小物の数々。素敵です。

2/28



わたしが所属する「立憲民主党・民権クラブ」に小田原市からいただいた令和4年度に向けた要望に対する県からの回答を、守屋小田原市長にお届け。地元要望、しっかりと県政に届けます！

2/27

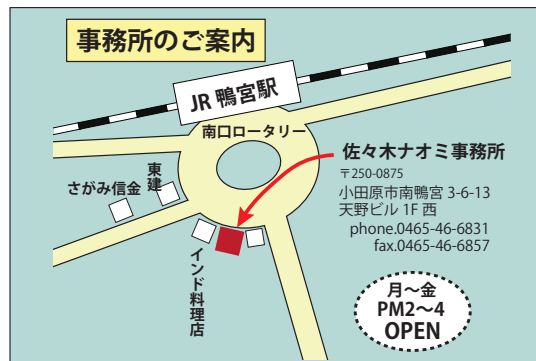


地球市民フェスタに参加。今年は、コロナ対策として、活動団体の発表のみの開催。チェルノブイリ子ども基金さんから、ウクライナ情勢についての深刻な状況を伺いました。

3/25



令和4年度第一回定例会最終日。討論に立った、会派の赤野政調会長と。政調会のメンバーとして1年間本当にお世話になりました！



Facebook ページ



公式ホームページ

